

平成27年度 湖北広域行政事務センター議会議員研修

研修の概要

- 実施日 平成27年10月7日(水)
- 研修先 1. 湖南省浄苑
湖南省岩根136番地133
2. 三重中央開発株式会社 三重リサイクルセンター
三重県伊賀市予野字鉢屋4713番地
- 参加人数 22人(センター議員12人、監査委員1人、構成市職員2人、センター職員7人)

- 研修目的 当センターの斎場「こもれび苑」は、S54年の開設から今年で36年目を迎え、施設が老朽化しており、これに伴う施設の維持管理経費も年々増加しています。平成25年度からは施設の管理運営を指定管理事業者に委託しておりますが、新斎場の建設を含め、将来に向けての斎場施設のあり方について検討をする必要があります。
一方、当センターでは一般廃棄物処理施設の管理運営等を行っていますが、ごみの処理は1日たりとも欠かすことのできない業務であり、施設のトラブル等まさかのときに備え、非常時の体制を整えておく必要があります。
こうしたことから、当センター議会では、斎場施設の建設を新最終処分場建設の次なる最重要課題として位置づけ、今後、斎場施設の建設を検討するに際しての参考とするため、また、非常時における廃棄物処理の受け入れとなりうる施設を実際に見学することで廃棄物処理をより理解できると考え、今回の研修を実施いたしました。
今回研修先とした湖南省浄苑は、湖南省が設置する斎場で今年6月に開設された最新の火葬施設で、センター同様、運営は指定管理にされています。
一方の三重リサイクルセンターは、廃棄物の収集・運搬から、中間処理、再資源化をはじめ、最終処分、更には地域貢献まで、一貫したリサイクル事業を展開されている大栄環境グループ三重中央開発株式会社の廃棄物処理施設で国内最大級の管理型最終処分場を設置され、日本各地から廃棄物を受け入れ、処理されています。

研修内容

- 8:30 クリスタルプラザ出発
- 9:20 湖南省 湖南省浄苑 到着
研修開始
湖南省生活環境課の職員の方から斎場施設建設工事にかかる経緯、施設概要について説明を受ける。その後、質疑応答が行われ、同職員の方から施設の運営、維持管理、ネット予約等についての説明を受けた。

施設見学
火葬炉メーカーの方を交え、待合ロビーから待合室、お別れ室、収骨室、炉室と見学しましたが、会葬者どうしが重複しない動線にされていました。外観は木をふんだんに使った和風モダンの建物で、屋上には太陽光発電パネルが設置されていました。
- 10:50 湖南省 湖南省浄苑 出発
- 12:50 三重中央開発株式会社 三重リサイクルセンター 到着
研修開始
同センターの所長さんからパワーポイント、大栄環境グループの案内資料により、同グループとしてのリサイクル事業の展開や再資源化率向上などの取り組みについての説明、全国自治体からの一般廃棄物の搬入についての説明を受けた。
施設見学
バスに乗車してリサイクルセンター内の本年3月竣工の管理型最終処分場、廃棄物複合リサイクル施設「エネルギープラザ」等諸施設を見学し説明を受けた。エネルギープラザでは廃熱利用による地域のホテルへの熱エネルギー供給の試みが行われているそうです。
施設の玄関案内板を見ると、当日は、センター以外にも多くの視察の受け入れが入っていました。

14:40 三重中央開発株式会社 三重リサイクルセンター 出発

16:20 クリスタルプラザ 到着

◆研修の様子
(湖南市浄苑)



(三重中央開発(株) 三重リサイクルセンター)

